



各地からの便り

「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

森林作業道作設後の

現地見学会

【十勝東部森林管理署】

6月23日、昨年度に製品生産請負事業が行われた本別町内の国有林で「森林作業道作設後の現地見学会」を開催しました。

この現場は、事業着手前の昨年7月に「森林作業道作設指針」に基づき、請負業者が地形や土質を考慮して予定ルートを選定した段階で現地検討会を開催した箇所、融雪後に同じ箇所を実施し、自治体、林業事業体、職員等合わせて61名が参加しました。

現地は、新設してから約1年経過しているにもかかわらず、分散排水等がしっかりと機能しており、融雪等による路体や路面の損傷は見られず、修繕しなくても高性能林業機械がそのまま利用できる状態となっていました。



民有林、国有林の参加者

参加者からは「線形や水処理の工夫次第で、しっかりと路面状態を維持できているのはびっくりした」

「経費はどの位かかっているのか」といった意見が聞かれました。

今後とも低コストで効率的な施業の推進に向けた現地検討会等を開催し、民有林関係者へ情報提供するとともに、市町村森林整備実行管理推進チームに対しても支援していきたいと考えています。

木工体験学習

【日高南部森林管理署】

6月24日、浦河町立浦河小学校からの依頼を受け、木材を使い工作の楽しさや森林のことを知ってもらうことを目的に、木工体験学習を開催しました。

今回は、「森林のお話」やコースター作成、丸太切りを行いました。

森林のお話では、児童に森林のことを知ってもらうために、森林が持つ多様な機能について、ボードに写真やイラストを貼ったものを使用し、説明しました。

コースター作では、ミスナラやアオダモの木を輪切りにし、そこにカーボン紙、イラストのついた紙を重ね

鉛筆でなぞり、コースターに写ったイラストに色を塗るなど、いろいろ工夫してコースター作りを楽しんでいました。

ノコギリを使つての丸太切りは、友だち同士で切り方のコツを、教え合ったり、協力する姿も見られ、「もっと切りたい」という声も聞こえていました。

手作りの楽しさを体験してもらい、森林について知ってもらう良い機会になったのではないかと思います。



丸太切り体験の児童

フォレストスクールに講師を派遣

【石狩地域森林ふれあい推進センター】

札幌市定山溪自然の村では、森林について専門知識を有する講師を招き、森林保全活動を理解し、その内容を普及、啓発する活動の

担い手となる人材を育成することを目的としたフォレストスクールを今年度から開催しています。

7月3日、当センターに要請があり講師を派遣しました。

講義では、森林・林業のトピックス、生物多様性、森林ボランティア活動の支援、森林環境教育について説明を行いました。

また、実習では、国有林内を散策しながら、林業に係る話題のほか、樹木のメカニズム・生命力、森林植生等について説明しました。参加者の中には、木材、林業に係る話は初めて聞くことが多かったようで、非常に興味深く聞き入っていました。



樹木のメカニズムについて説明

夏の森林環境教育

【北空知支署】

7月6日、幌加内町立朱鞠内小学校において今年度2回目の森林環境教育を実施しました。

朱鞠内小学校は、子どもたちがさまざまな体験活動や学習活動を行うフィールドとして、「遊々の森(わんぱくの森)」を締結しています。

今回ののは、遊々の森の歩道を歩き、デジタルカメラで樹木や植物などを撮影し、夏の森林を体験してもらいました。

林内に入ると野イチゴやギンリョウソウなどの植物やミスナラなどの太い木、オオカメノキなどの大きな葉っぱなどがあり、児童たちはそれぞれ工夫しながら撮影していました。

また、歩道上に倒れていた倒木を、ノコギリを使用して撤去してもらったり、トドマツの年輪を数えてもらい何年生か調べてもらいました。

今後、子供たちに楽しんでもらえるよう、様々な

メニューを考え、より良い森林環境教育ができるよう努めていきたいと考えています。



デジタルカメラで虫を撮影

バットの森づくり植樹祭

【胆振東部森林管理署】

7月16日、苫小牧市糸井国有林において、NPO法人「アオダモ資源育成の会」が主催する「バットの森づくり植樹祭」が開催されました。

この会は、バットの材料となるアオダモの資源量が減少していることを踏まえ、その資源育成を目的として2000年に設立され、プロ野球機構等関係機関の協力を得ながらアオダモの植樹活動を展開しております。

当日は、青空の下、東北楽天ゴールデンイーグルスの福田将儀選手、室蘭栄高

等学校、室蘭工業高等学校、室蘭東翔高等学校野球部員、苫小牧新生台イーグルスの子供達等130名がアオダモのポット苗200本を植樹しました。



野球選手との植樹作業

なお、今年から、8月11日が国民の祝日「山の日」となることから、「山の日」の法被を着用したところ、参加した子ども達は興味津々で法被を見ていました。



山の日法被に興味津々の子ども達

「ネイパルあしよ」で

森林環境教育を実施

【東大雪支署】

7月17日、北海道立青少年体験活動支援施設「ネイパルあしよ」において、小学生から中学2年生までの児童・生徒(11名)を対象に森林環境教育を実施しました。

これは、ネイパルあしよろが開催している主催事業であり、森林や河川での体験活動をおして身近な環境を守ることへの興味関心を高めることを目的としております。



フィールドビンゴの様子

当日は相澤支署長外職員が講師となり、ネイチャーゲームや子ども樹木博士認定テストを行いました。樹木の幹や葉の肌触り匂いなど五感を使って探し出

すネイチャーゲーム「フィールドビンゴ」では、樹木によって特徴の違いがあることに自ら気づき、意欲的に観察する姿が見られました。

「子ども樹木博士認定テスト」では、10種類の木の特徴などを説明しながら森林散策を行いました。

樹名の由来や樹液及びサクラの実を飲食するなど、子ども達と共有できる身近な話題についてユーモアを交えて伝えることに工夫しました。

今後も教育関係機関等との連携を図り、たくさんの子供たちに森林の大切さやおもしろさなどを伝えていけるよう努めていきたいと思っております。



子ども樹木博士認定テスト

札幌水源の森づくり 2016

～「山の日」記念～



日時：平成 28 年 8 月 27 日（土曜日）
10 時～13 時頃（雨天決行）

会場：札幌市創成川公園・狸二条広場
（札幌市中央区南 3 条東 1 丁目）

- ・ポット苗木を作るコーナー
- ・花の苗プレゼントコーナー
- ・「森・水」等のクイズコーナー

ぜひお気軽にお立ち寄りください



北海道森林管理局は、大で大変豊かな森林を国民共通の財産として、世代を超えたさまざまなニーズに
 応えられるよう、持続的な管理経営に努めるとともに、より豊かな姿で次の世代に引き継ぐことを使命として
 おります。

北海道森林管理局のホームページ内では、「公売・入札情報」「知床世界自然遺産」「エゾシカ対策」「森もり！スクエア」イベント情報」等の各サイト内において北海道国有林の情報をお届けしております。

広報 「北の森林 国有林」8月号
 発行 北海道森林管理局
 編集 総務企画部 企画課
 〒064-8537 札幌市中央区宮の森
 3条7丁目70
 I P 電話 050-3160-6300
 電 話 011-622-5213
 F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

行事・イベント情報

8月27日（土曜日）
札幌水源の森づくり 2016
場所：札幌市創成川公園
狸二条広場

昨年の様子